

会議名	第5回八名地域協議会		公開
日時	令和3年11月22日(月) 午後7時30分～午後9時00分	場所	一鍬田公民館 2階 集会室
出席者	(委員) 伊藤寿規、井原勉、酒井祥英、安形茂、岡本勝則、中野岩夫、 木野田直泰、小林勝則、犬塚孝好、小林正子、山本いづみ、 井上こずえ、滝川多嘉子、細田圭介、中村美奈、白井千穂、 西田みゆき		
	(事務局) 自治振興課：加藤課長、宮本主査 自治振興事務所：近藤所長、岡本主任		
欠席者	(委員) 手塚喜賀、安形貴代江、田中純子、 山下誠裕、豊田啓季、柿野岳	傍聴者	なし
配布資料	次第、地域計画を進めるために、地域協議会の委員構成検討用資料、 協議会の委員構成、分科会構成調査、八名地域協議会「地域の意見 箱」の設置について		

### 議題・議事・発言等（要点記録）

<p><b>1 開会</b> 会長が挨拶を行い、本日の地域協議会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。</p> <p><b>2 説明</b> <b>(1) 地域マネージャー制度について</b> 事務局から市が検討を進めている地域マネージャー制度を地域計画推進のための一つの手段として、地域協議会で検討会の人選を行い、勉強会から始めて計画推進方法の検討を行ってほしいとの説明を行った。</p> <p>&lt;主な意見&gt; &lt;委員&gt; 他の地域協議会で地域マネージャーについて説明があったようですが、その時の資料と今回の物は違うのはどうなのか。 市民自治会議が3月に答申を出している、地域協議会は実行組織になるべきとあるが、地方自治法では審議機関に位置付けられており、実行組織になるべきとは法的に可能なのか。 同じ答申の中に地域マネージャーとの言葉はないが、類似の制度として宮崎市のノウハウを有する人材アドバイザーの派遣制度について新城市にもふさわしい制度であるから検討すべきとあるがどうか。宮崎市の制度と地域マネージャーの制度はどういった関係があるのか。 本日の資料にはないが、地域自治区の将来像として法人格を有するとか、自主財源を確保するとのことであるが、八名がこれを目指さないからない</p>
--

のか、他の地域自治区ではこれを目指すのか説明が違うが、市全体で考えることを地域制で片づけてよいのか。

地域マネージャーは総務省が進めている地域プロジェクトマネージャー制度、ふるさと財団の地域再生マネージャー事業となりが違うのかのイメージを市が持っているのか

<事務局> 市民自治会議についてはコロナ禍での会議で継続審議となり、今年度、引き続き会議を行っており、地域マネージャーの検討を行っている。

総務省のプロジェクトマネージャーの質問があったが、1つのプロジェクトに対し、国から専門家が来て、地域の橋渡しをするものであるが、地域マネージャーが行うと考えている地域計画の推進とは少し違うと思う。

資料の違いとしては、説明が始まったころは、地域マネージャーについて文章を使った説明であったが、委員の方への説明として言葉ばかりでは分かりにくいとため、資料を作り直し、イメージとして絵を使って分かりやすくしている。内容は、大筋として変わっていませんが、地域協議会ごと違うのは、その時点の最適な資料を考えて修正を加えているので違う。

<委員> 令和2年度地域マネージャーを検討する予算があったが、どのような結論になったのか、他の地域で説明を行い議論されているが、市が答えてきたことは、今回は共通しているのか。

<事務局> 令和2年度の事業概要としては、視察などを考えていたが、コロナ禍でできなかったのも、市役所で検討会を作って考えてきた。職員が事例を探し、検討してきた。他の地域の答えと共通かどうかについては、共通している。

<委員> 流れがよく分からないが、内容、進捗状況がどこまで進んでいるのか、協議会の位置づけ、構成メンバーとどこまで決まっているのか。

<委員> 分かっている方と分からない方の差があり、何を質問していいのかわからない。突然、地域マネージャーの話があっても経緯がわからない。

<委員> 八名区長会との関係性はあるか。八名区長会長に地域マネージャーについて、地域協議会で話をしても八名区長会でダメと言われることがないか。

<事務局> 八名も過去にはそうであったが、他の地区は区長が全員入っているところがある。現在は行政区からの代表者となっているが、区長でなくても地域協議会として八名全体のことを考えていこうとなった。八名区長会と地域協議会の話し合いができていないことが課題で地域協議会の役割として建議、審査、答申の3つの役割であるが、八名区長会とは違う役割である、一緒に八名地域を考えていかないといけないと思うが、それが課題である。

地域マネージャー制度を先に出してしまったが、市として早くやらないといけないが、地域計画を進めるにあたって、まずはそれを考えていかなければいけないと思います。

<委員> 計画を管理して進めるには、雇うかどうかはあるが、事業のプロジェクトマネージャーを置くべきだと思う。地域マネージャーではなく、地域計画推進をしていくということについては理解できる。地域マネージャーが

<事務局> 例として、千郷は6つの部会で推進を行っている。それぞれの部会が出してきたものを協議会で協議している。

<委員> 地域マネージャーが適当かどうか、地域マネージャーを決めなければ推

進できないのであれば、専属で付けてやっていかないといけないのではないか。

<委員> 八名区長会を絡めたほうが推進できるのではないか。

### 3 議事

#### (1) 八名地域協議会の追加開催について

会長から地域計画推進のための検討会の立ち上げるにあたっての人選をするため、地域協議会で協議をしたいが、当初のスケジュールでの2月では長く期間が空いてしまうため、12月に追加開催をしたいとの説明を行い、追加することとなった。

#### (2) 八名地域協議会委員構成、分科会構成について

事務局から委員構成については、井上こずえ委員、山本いづみ委員を除いた委員の枠は2年任期で継続となるため、任期が終了する、もしくは欠員となっている枠を減らすか、新たな枠を追加することしかできない、分科会構成については、現在の地域活動交付金分科会、地域自治区予算分科会、地域計画分科会の見直しを行うかどうかについて説明を行った後、協議を行った。

委員構成については、令和3年度同様の委員構成として決定し、地域推薦女性枠の欠員2名については探していくこととなった。地域計画分科会長から地域計画を推進していくには委員構成を含めて分科会構成を考えていくことが必要であるが、任期の周期が終わる令和5年度からの体制を今後検討していきたいとの意見があった。

分科会構成については、地域計画分科会長から地域計画の見直しの状況として計画の柱を9つから4つにするとの検討が進んでおり、地域自治区予算分科会は、地域協議会全体を柱ごとのグループ制にして協議し、地域活動交付金分科会は、そのグループから2～3名程度の選出制、地域計画分科会は、令和4年度も引き続き見直しの検討を進めていくため、分科会形式として手挙げ制として、地域計画の柱、目標等の方針について次回の八名地域協議会で採決した後、分科会の採決をしてほしい旨の意見があり、分科会構成は次回協議することとなった。

#### <主な意見>

<委員> 継続的である委員は、地域推薦女性のみであるが、男性枠を設けていくのはどうか。地域推薦女性枠の欠員2名について、公募してはどうか。

<委員> 来年度に地域計画の推進方法を検討していくので、そのときに検討して変えていきたいがどうか。

<委員> 公募にするのか、区長や地域の人に推薦してもらおうように働きかけるのはどうか。

<会長> 令和4年度は現状通りとして、検討してく年とする。女性の2枠については、探していくとうことでいいか。

<委員> 八名こども園保護者会としては、12月に役員を検討していくので、来年度のその前までに委員構成は決めてほしい。

### 4 報告

#### (1) 地域の意見箱の設置について

事務局から令和3年度地域自治区予算事業である地域情報収集・発信事業として八名地域自治区内に意見箱を設置することについて、八名地域の住民の立ち寄りが多く

あるJAプラザ（旧Aコープ八名店）が適当であるため、JAプラザの所有者である愛知東農業協同組合、使用しているやなマルシェ、地域協議会の3者で覚書を締結し、「地域の意見箱」として設置したことについて報告を行った。

## 5 その他

### (1) 第6回八名地域協議会

次回の八名地域協議会は、令和3年12月7日（火）に開催することとなった。

## 6 閉会